

自然が息づく 求菩提山が見守るまち



ぶ ぜん し
豊前市

求菩提山

豊前修験道の聖地であり、国指定史跡の求菩提山(標高782メートル)。麓には国の重要文化的景観に選定された「求菩提の農村景観」など日本の原風景が残る



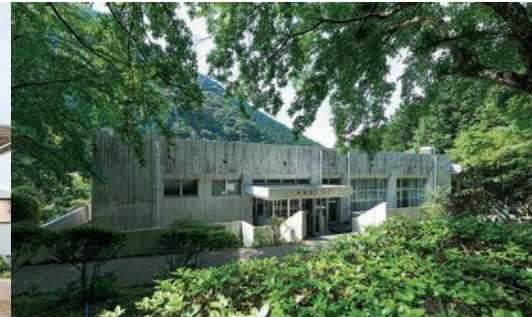
うみてらす豊前

宇島漁港内の人気スポット。1階は豊築漁協の直売所「四季旬海」、2階の漁師食堂「うのしま豊築丸」では豊前海を一望しながら、旬の海産物を堪能できる



道の駅 豊前おこしかけ

神功皇后が巡幸の際に休憩した「お腰掛け」が名前の由来の道の駅。地元の野菜や果物、加工品をはじめ、特産物のユズやイチジクを使ったご当地スイーツも楽しめる



求菩提資料館

526年、猛覚魔ト仙によって開山されたといわれる求菩提山。山中で発見された経筒やカラス天狗像など、修験道に関わる貴重な文化財、出土品を収蔵展示する



求菩提温泉 ト仙の郷

求菩提山の麓にある温泉宿泊施設。求菩提山を一望できるロケーションと開放感のある露天風呂に加え、季節の料理も堪能できる。日帰り入浴、食事のみの利用も可



畑冷泉館

水神社内にある大楠の根本から湧き出る水温15度の清水は、豊前の三名水の一つといわれ、多くの方が水くみに訪れる。夏季のみ営業を行う冷泉浴や地元食材を使った料理も楽しめる



枝川内あじさいランド

「日本一のあじさいランド」を目指し、地域住民の手によって植えられた約15000株のアジサイが約2キロにわたって咲き誇る。6月中旬には「あじさい祭り」が開催される

豊前暮らし体験の家 「山内の家」



田舎暮らしを検討している市外の人向けに、明治時代に建築された古民家を改修し、お試し居住施設として整備しました。利用期間は、2日以上30日以下。料金は1日当たり1000円。豊前の魅力に触れながら、移住後の住居や仕事探しなどができます。必要最低限の備品もそろっているため、お試しやすいのもポイント。

※お問い合わせ・申し込みは豊前市観光物産課まで。

福岡県の東部にある豊前市は、南に修験道の史跡を残すパワースポット・求菩提山、北は周防灘の穏やかな海に面し、山と海の幸に恵まれたところ。北九州市と大分県中津市間に位置し、行橋市と並んで京築地域の中心都市として機能しています。豊かさに満ちた美しい自然や景観を生かし、過疎の進むまちを元気にしようと、特産物や農村を活用した取り組みも盛んです。神楽などの伝統文化も含め、まちの宝物は、訪れる人の心を癒やします。

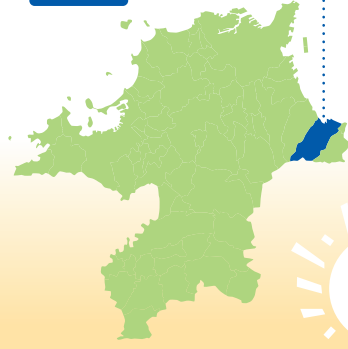
ご当地キャラ紹介



くぼてん

求菩提山にすむカラス天狗の男の子。ガールフレンドはきょうこちゃん。

豊前市



海と山に囲まれた豊かさは まちの宝物



求菩提キャンプ場

テントサイトやバンガロー、ログハウスなどを完備した県内最大のキャンプ場。最寄りには「求菩提河川公園」もあり、市内外から夏場には多くの方が訪れる

問い合わせ 豊前市役所

豊前市吉木955
☎0979-82-1111 (代表)
ファクス0979-83-2560
<http://city.buzen.lg.jp/>

豊前市の観光情報を紹介した動画が楽しめます。
<http://buzen-mov.blog.jp/>



》潮干狩り体験

毎年3月～5月、宇島・八屋・松江の3地区でアサリやマテ貝掘りが楽しめる。時期や場所、入漁料など詳しくは豊前市役所農林水産課まで



》「豊前棚田ゆず」を使った加工品

寒暖差のある山間部の棚田で栽培されるユズは、ゆず胡椒をはじめ、さまざまな加工品に使用。中でも、フランスにも輸出されているゆずペーストや甘酒が人気



》豊前海一粒かき

ミネラル豊富な豊前海の栄養が詰まったカキは、焼いても縮まない身の詰まり具合が特徴。毎年12月～3月頃に出荷され、宇島や松江などのカキ小屋で味わえる



》豊前市みなと祭り

漁船が大漁旗をなびかせ、大漁祈願のパレードを行う勇壮な豊漁祭と、約3000発の花火大会が見もの。毎年7月下旬～8月上旬、宇島港湾内にて開催



》豊前神楽

平成28年に国の重要無形民俗文化財に指定された豊前の伝統神事。6つの神楽講により伝承されており、主に9月から各地域で異なる魅力の神楽が奉納される

》pick up 《ピックアップ》

有志で開発した
ご当地グルメ
「豊前オニメン」で
町おこし

豊前ご当地グルメ 推進委員会

「食で豊前を盛り上げよう」と市内の有志10人が立ち上がり、平成28年11月に「豊前ご当地グルメ推進委員会」は発足しました。メンバーは現在20名程度。30～40代で、職業は大工や塗装業、飲食店経営者など、さまざまです。

「特産の「豊前とうがらし」と豊前神楽をイメージさせるメニューにしたかった」と話すのは、委員長の^{おおもりかすのり}大森和教さん。こうして地元の鬼伝説を連想させる、豊前とうがらしを使って赤色に仕上げた麺料理「豊前オニメン」が誕生。市内17店舗の飲食店にもオリジナルのオニメンの提供を依頼し、「ピリ辛で病みつきになるオニメンを食べ比べてほしい」と、イベントなどでPR。

そのかいあって参加店も増え、現在は家庭用のインスタントオニメンを開発中。熱意ある活動はこれからも続きます。



1.「豊前ご当地グルメ推進委員会」委員長の^{あさくら}大森和教さん(右)と^{あさくら}朝倉亮さん(左) / 2.「豊前とうがらし」を使った「豊前オニメン」。「五カ条の鬼のお達し」のルールのもと、ビーフン、パスタなどの麺を用いた、和洋中、味付けの異なる個性的な汁なし麺料理がそろそろ / 3.福岡市役所前ふれあい広場で行われた「周防灘地域大物産展」に出店

農村民泊・
農業体験を通じて
地域の魅力を高め、
広めたい

岩屋 グリーンツーリズム 研究会

山深く自然の美しい岩屋地区で、農業・農村の活性化を目的に、平成22年に設立された「岩屋グリーンツーリズム研究会」。

「農村民泊や農業体験を通じて、国内外の人に豊前の魅力を体感してほしい」と、これまでにマレーシアや中国など海外の団体も受け入れ、インバウンド観光客の呼び込みにも取り組んでいます。

現在のメンバーは、地元農家を中心とした14世帯19人。「シイタケのこま打ちやユズ狩りなど季節の農業体験に加え、貴重な神楽体験も豊前ならではの海外の人にとっては布団^{おくもたかみ}の上げ下ろしもユニークな体験のようですよ」と事務局長の^{おくもたかみ}奥本隆己さんは話します。

体験後、朝倉市から移住を決めた夫婦も受け入れ側として活動。会として、グリーンツーリズムに取り組むほか、地域との連携強化を課題に、コミュニティーを育てています。



1.「岩屋グリーンツーリズム研究会」の皆さん。過疎の進む地区の活性化を目指し、受け入れ先として地域の魅力を伝えている / 2.教育旅行を目的に市内の小学生が体験農作。ユズ狩りを体験した時の様子 / 3.「豊築グリーンツーリズム協議会」の交流夕食会。岩屋、上城井、巢狩谷の3地区が共同で中国から32人の団体を受け入れた

海と漁場の
環境を守りながら
豊前海が育む
海の幸を食卓へ

豊築漁協 青壮年部

「豊前海一粒かき」や「豊前本ガニ」など、四季を彩る海の幸が豊富な豊前。それを下支える「豊築漁協 青壮年部」には、現在、30代～60代までの漁師14人が所属しています。「部員の中には、地域おこし協力隊として豊前に移住して来て、漁師に転身した人もいますよ」と話すのは、副部長の^{やずだいすけ}矢頭大介さんです。

「豊前の魚のおいしさをダイレクトに届けたい」と、平成28年には、漁港内に漁協直営の食堂と直売所「うみてらす豊前」をオープン。今年6月で2周年を迎えました。魚種類に加え、近年はスーパーフードとして注目される海藻のアカモクにも力を入れています。

漁に加え、魚のつかみ取りなど「うみてらす豊前」のイベントもサポート。また、春と秋に行う海岸の清掃活動は、海と漁場の環境を守るため、欠かさず続けられています。



1.「豊築漁協 青壮年部」の皆さん。10年前から着目するアカモクは、毎年4月に収穫し、シーズンでパック2万個を売り上げるという / 2.宇島漁港内にある「うみてらす豊前」。10月13日には「鮮魚まつり」が開催される予定 / 3.水揚げされたコウイカ。夏はコショウダイやハモが旬

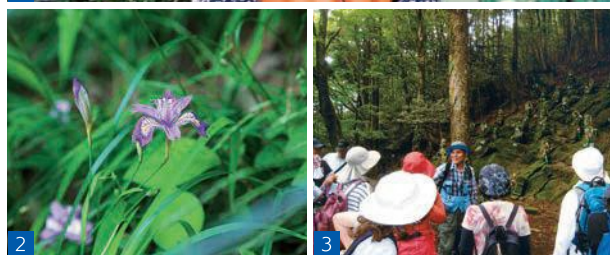
故郷の素晴らしさを
再発見し
町づくりと
おもてなしに生かす

豊前市 史跡ガイド ボランティアの会

平成9年に発足した「豊前市史跡ガイドボランティアの会」は、地域の会員40人が所属し、求菩提資料館を拠点に、豊前の文化財や自然の魅力を広めています。立ち上げから所属し、代表を6年務めるのは、^{きよたしよつこ}清田韶子さんです。

「会員は私のように幼少期から歴史が好きで、地元を愛する60代が中心。ガイドでは会で作ったモデルコースを参考にしますが、市外から訪れる人の要望に合わせ、短時間で回れる見どころも案内できます。私自身も何度巡っても新たな発見があるんですよ」と瞳を輝かせます。

メンバーはさまざまな対応ができるよう、養成講座なども意欲的に受講。仲間同士でも、カフェ部や写真部などの部活を作って親交を深め、知的好奇心のアンテナを張り巡らせています。



1.「良いガイドになるために、みんなで常に学び続けています」と話す「豊前市史跡ガイドボランティアの会」代表の^{きよたしよつこ}清田韶子さん / 2.養成講座を受講した人がガイドとして活動。山中で絶滅が危ぶまれる県の天然記念物ヒメシヤガの移植活動も行っている / 3.求菩提山中にある安浄寺を案内する様子